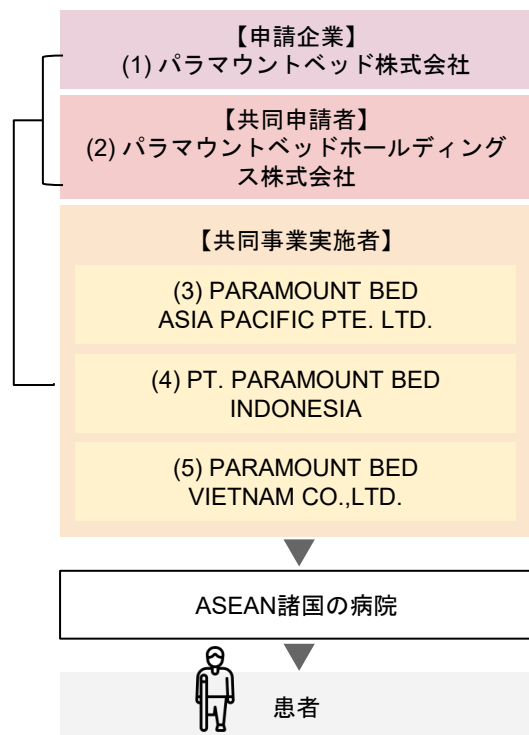


プロジェクト名	インドネシア国・タイ国・ベトナム国／義肢装具製造DXを中核とした日本発・遠隔医療DXプラットフォームのデファクトスタンダード構築実証事業		
企業名	パラマウントベッド株式会社	企業規模	中小企業・中小企業以外
類型	類型1・ 類型2 ・類型3	分野	GX分野・DX分野・経済安全保障分野
事業費総額/補助対象経費総額/補助金申請額	11.7億円/5.8億円/5.8億円		

事業概要 【想定事業スキーム】



1. 事業概要

本事業は、日本発の遠隔医療DX技術をASEAN地域に展開し、医療提供体制の高度化と持続可能な事業モデルの確立を目的とする実証事業である。パラマウントベッドグループが有する病院顧客接点ネットワークを基盤に、遠隔義肢装具製造DX技術を中核とした「病院連携型遠隔医療DXプラットフォーム」を構築し、現地の制度・運用環境に適合した形で社会実装を行う。

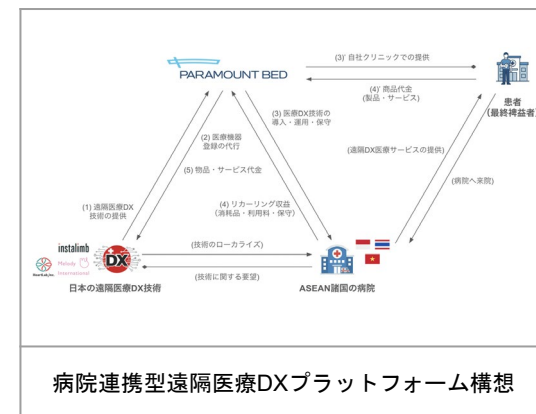
2. 主な技術および実証内容

遠隔義肢装具製造DX技術（Instalimb）を主要要素技術に、3Dスキャン・AIによるモデリング・3Dプリント製造を遠隔で一体化した医療提供モデルを構築する。インドネシア・タイにおいて、病院導入・運用・保守・教育を含む社会実装プロセスを実証し、制度環境の異なる国でも成立する標準モデルの確立を目指す。あわせて、同一基盤上で他の遠隔医療DX技術への展開可能性を検証し、ASEAN地域への横展開に資する再現性を確認する。

3. 事業規模：34.0億円（5年目想定）

4. スケジュール

- ・2026年度：インドネシアおよびタイにおいて技術移転を開始。教育機関・病院への導入、運用体制および保守体制の構築を実施。
- ・2027年度：複数病院への展開を進め、遠隔義肢装具製造DX技術の運用検証および標準化を推進。
- ・2028年度：他国（ベトナム）への展開および他の遠隔医療DX分野への応用を検証し、デファクトスタンダードの構築。
- ・2029年度以降：実証成果を踏まえ、本格的な事業化およびASEAN地域への横展開を実施。



日本裨益【本事業の我が国の雇用増等への裨益効果】

本事業により、日本企業が保有する遠隔義肢装具製造DX技術の海外展開が進み、3Dプリンター、関連部材、ソフトウェア、保守・運用サービス等の継続的な需要創出が見込まれる。実証期間および事業化後5年間に於いて、インドネシアおよびタイを中心とした売上拡大（累計34.0億円規模）が想定され、日本国内における製造・運用・管理機能の維持・強化に寄与する。また、海外実証を通じて確立される運用・保守・品質管理の標準化ノウハウは、日本国内の医療DX推進や人材育成にも還元され、将来的な医療分野における生産性向上に資する。さらに、ASEANでの事業展開を通じて日本発医療技術の国際的な認知度と信頼性が向上し、今後の海外展開や関連産業への波及効果が期待される。